

プログラム

スポンサードセミナー 1 9:05 ~ 10:05 WEB開催 (Live 配信)

膵神経内分泌腫瘍の基礎と臨床、最新の話題

座長：工藤 篤 (東京医科歯科大学 肝胆膵外科学分野)

SS1-1 消化管・膵神経内分泌腫瘍における O⁶-methylguanine DNA methyltransferase (MGMT) と glucose transporter 2 (GLUT2) の発現の検討.....26

渡邊 裕文¹⁾、藤島 史喜¹⁾、河本 泉²⁾、今村 正之³⁾、肱岡 範⁴⁾、鳥山 和浩⁵⁾、谷田部 恭⁶⁾、工藤 篤⁷⁾、海野 倫明⁸⁾、笹野 公伸¹⁾

- 1) 東北大学病院 病理部、2) 関西電力病院 外科、3) 関西電力病院 神経内分泌腫瘍センター、
4) 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、5) 名古屋大学 消化器内科、
6) 国立がん研究センター中央病院 病理診断科、7) 東京医科歯科大学 肝胆膵外科、8) 東北大学病院 総合外科

SS1-2 遠隔転移を伴う膵神経内分泌腫瘍に対するスニチニブ投与後切除可能性の検討.....28

赤星 径一¹⁾、村瀬 芳樹¹⁾、前川 彩¹⁾、浅野 大輔¹⁾、石川 喜也¹⁾、上田 浩樹¹⁾、小川 康介¹⁾、小野 宏晃¹⁾、工藤 篤¹⁾、田中 真二²⁾、田邊 稔¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学大学院 肝胆膵外科学分野
2) 東京医科歯科大学大学院 分子腫瘍医学分野

SS1-3 進行性膵神経内分泌腫瘍に対するストレプトゾシン /S-1 併用療法の治療有用性および MGMT 発現レベルに基づいた治療効果予測.....30

小野 宏晃、工藤 篤、田邊 稔

東京医科歯科大学大学院 肝胆膵外科学分野

共催：ファイザー株式会社／ノーベルファーマ株式会社

スポンサードシンポジウム 10:15 ~ 11:15 WEB開催 (Live 配信)

ソマトスタチンレセプターの役割と SSA 薬物療法

座長：伊藤 鉄英 (福岡山王病院 膵臓内科・神経内分泌腫瘍センター、国際医療福祉大学 医学部 消化器内科)

SP1 臨床検体における SSTR2 (somatostatin receptor 2) 検索の利点と限界.....22

笹野 公伸、渡邊 裕文、藤島 史喜

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野、東北大学病院病理部

SP2 NET 薬物療法 up to date ~ SSA 製剤を中心に~24

藤森 尚

九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科

共催：帝人ファーマ株式会社／帝人ヘルスケア株式会社

ご案内

プログラム

JNETS
学術シンポジウム

スポンサード
シンポジウム

スポンサード
セミナー

ランチ
セミナー

一般演題

進化する NET 治療 ~新たな時代の幕開け~

座長：志賀 哲 (福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター)
池田 公史 (国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科)

LS1	PRRT の登場~治療の実際と各施設導入のポイント~.....36
	高野 祥子 横浜市立大学附属病院 放射線科
LS2	求められる新たな治療戦略.....38
	肱岡 範 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

共催：富士フィルム 富山化学株式会社 / ノバルティスファーマ株式会社

スポンサードセミナー 2

GEP-NETs における抗腫瘍薬の適正使用とは？

座長：古瀬 純司 (杏林大学医学部 腫瘍内科学)

SS2-1	GEP-NET に対する薬物療法 ~ガイドラインが教えてくれない事~.....32
	李 倫學 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科
SS2-2	切除不能腫・消化管神経内分泌腫瘍に対する PRRT の位置づけ.....34
	小林 規俊 横浜市立大学大学院医学研究科 がん総合医科学

共催：帝人ファーマ株式会社 メディカルサイエンス部

JNETS 学術シンポジウム

NEN 診療への新たな挑戦

座長：島津 章 (草津総合病院 先進医療センター)
上本 伸二 (滋賀医科大学)

S-1	JNETS Project Study: 日本における NEN 肝転移肝切除の現況と未来.....16
	青木 琢 獨協医科大学 第二外科
S-2	JNETS Project: 日本における NEN 疫学の解析と今後の展望.....18
	増井 俊彦 京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科
S-3	NEN 診療と研究の展開—JNETS 創設と未来.....20
	今村 正之 JNETS 名誉理事長

膵 NEN

P1-1 リンパ節転移危険因子に着目した膵神経内分泌腫瘍に対する術式選択40
井手野 昇、仲田 興平、阿部 俊也、池永 直樹、中村 雅史
九州大学大学院医学研究院

P1-2 切除不能 Pan-NEN に対する Capecitabine/Temozolomide 併用療法の治療成績40
山下 宏成¹⁾、小野 宏晃¹⁾、八木 宏平¹⁾、石川 喜也¹⁾、上田 浩樹¹⁾、赤星 径一¹⁾、小川 康介¹⁾、
工藤 篤¹⁾、田中 真二²⁾、田邊 稔¹⁾
1) 東京医科歯科大学医学部付属病院 肝胆膵外科、2) 東京医科歯科大学 分子腫瘍医学

P1-3 切除不能多発肝転移に対して長期間の薬物療法後に Conversion 切除を行った膵神経内分泌腫瘍の 1 症例41
有田 淳一、白田 力、長田 梨比人、三原 裕一郎、市田 晃彦、河口 義邦、石沢 武彰、
赤松 延久、金子 順一、長谷川 潔
東京大学

P1-4 膵内分泌腫瘍と膵管内乳頭粘液性腺腫が隣接して併存していたため、術前診断に苦慮した 1 例41
桜井 博仁¹⁾、山本 久仁治¹⁾、近藤 典子¹⁾、高見 一弘¹⁾、中野 徹²⁾、小川 仁²⁾、
柴田 近²⁾、片寄 友¹⁾
1) 東北医科薬科大学 肝胆膵外科、2) 東北医科薬科大学 消化器外科

P1-5 NETG3 術後、膵管内発育を呈した再発の 1 例42
志村 正博、浅野 之夫、伊東 昌広、荒川 敏、加藤 宏之、小池 大助、林 千紘、河合 永季、
東口 貴彦、堀口 明彦
藤田医科大学消化器外科学講座 ばんだね病院外科

胆道 NEN

P2-1 胆管原発の小細胞型神経内分泌がんに対する切除経験 - cStage I 症例に対する膵頭十二指腸切除 -43
新井 孝明¹⁾、鈴木 裕¹⁾、服部 健人¹⁾、吉田 智幸¹⁾、松木 亮太¹⁾、小暮 正晴¹⁾、土岐 真朗²⁾、
藤原 正親³⁾、柴原 純二³⁾、阪本 良弘¹⁾
1) 杏林大学医学部付属病院 肝胆膵外科、2) 杏林大学医学部付属病院 消化器内科、
3) 杏林大学医学部付属病院 病理学教室

P2-2 カルボプラチン・エトポシド療法が奏効した、慢性 B 型肝炎を伴う胆嚢神経内分泌癌の一例43
池澤 賢治¹⁾、高田 良司¹⁾、大塚 倫之²⁾、占部 真貴子¹⁾、甲斐 優吾¹⁾、山井 琢陽¹⁾、
上原 宏之¹⁾、長田 盛典³⁾、大植 雅之⁴⁾、大川 和良¹⁾
1) 大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、2) 大阪国際がんセンター 腫瘍内科、
3) 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、4) 大阪国際がんセンター 消化器外科

P2-3 多発肝転移を伴う切除不能十二指腸乳頭部 NEC に対してエベロリムスが奏功した一例44
金田 明大、増井 俊彦、長井 和之、穴澤 貴行、仲野 健三、内田 雄一郎、余語 覚匡、
波多野 悦朗
京都大学 肝胆膵・移植外科

P2-4 リンパ節転移を認めた十二指腸乳頭部 gangliocytic paraganglioma の一例44
三浦 峻¹⁾、阿部 俊也¹⁾、井手野 昇¹⁾、池永 直樹¹⁾、藤森 尚²⁾、大野 隆真²⁾、山田 裕³⁾、
仲田 興平¹⁾、小田 義直³⁾、中村 雅史¹⁾
1) 九州大学病院 臨床腫瘍外科、2) 九州大学 病態制御内科、3) 九州大学 形態機能病理学

ご案内

プログラム

JNETS
学術シンポジウム

スポンサー
シンポジウム

スポンサー
セミナー

ランチ
セミナー

一般演題

P2-5	当院で経験した副乳頭 NEN に対して内視鏡的副乳頭切除術を施行した 1 例45
	小嶋 啓之、山本 健治郎、祖父尼 淳、土屋 貴愛、石井 健太郎、田中 麗奈、 殿塚 亮佑、向井 俊太郎、永井 一正、糸井 隆夫 東京医科大学 臨床医学系消化器内科学分野

ポスター 3	紙上発表
---------------	------

消化管 NEN

P3-1	食道神経内分泌癌におけるマイクロ RNA 発現を用いた分子生物学的サブクラスの同定と治療効果予測分子セットの探索46
	奥村 知之 ¹⁾ 、吉村 裕一郎 ²⁾ 、藤井 努 ¹⁾ 、嶋田 裕 ³⁾ 、小澤 壯治 ⁴⁾ 、松原 久裕 ⁵⁾ 、上本 伸二 ⁶⁾ 、 幕内 博康 ⁴⁾ 、今村 正之 ⁷⁾ 1) 富山大学 消化器・腫瘍・総合外科、2) 富山大学 放射線部 (医療 AI 開発室)、 3) 京都大学 ナノバイオ医薬 創成科学、4) 東海大学 消化器外科、5) 千葉大学 先端応用外科、 6) 滋賀医科大学、7) 関西電力病院
P3-2	食道神経内分泌細胞癌の臨床病理学的特徴および治療法に関する検討46
	新井 聡大、星野 明弘、塩原 寛之、篠原 元、冨井 知春、齋藤 賢将、藤原 直人、佐藤 雄哉、 徳永 正則、絹笠 祐介 東京医科歯科大学
P3-3	直腸 NET に対する内視鏡的切除方法に関する検討47
	鳥山 和浩 ¹⁾ 、山村 健史 ¹⁾ 、前田 啓子 ²⁾ 、澤田 つな騎 ²⁾ 、石川 恵里 ¹⁾ 、角嶋 直美 ¹⁾ 、 古川 和宏 ¹⁾ 、川嶋 啓揮 ²⁾ 、中村 正直 ¹⁾ 、藤城 光弘 ¹⁾ 1) 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学、2) 名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部
P3-4	大腸 NEN(Neuroendocrine Neoplasm) のリンパ節転移とその臨床病理学的因子の検討47
	地主 皓一、能浦 真吾、竹山 廣志、鈴木 陽三、清水 潤三、今村 博司、冨田 尚裕、 堂野 恵三 市立豊中病院
P3-5	当院における直腸 NET に関する検討48
	田村 繁樹、小林 規俊、大久保 直紀、鈴木 章浩、徳久 元彦、市川 靖史 横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科

ポスター 4	紙上発表
---------------	------

機能性 NEN

P4-1	膵神経内分泌腫瘍における GLP-1 発現検討 / 腫瘍インスリン産生能と somatostatin receptor scintigraphy 結果との関連49
	渡邊 裕文 ¹⁾ 、藤島 史喜 ¹⁾ 、河本 泉 ²⁾ 、今村 正之 ³⁾ 、脇岡 範 ⁴⁾ 、鳥山 和浩 ⁵⁾ 、谷田部 恭 ⁶⁾ 、 工藤 篤 ⁷⁾ 、海野 倫明 ⁸⁾ 、笹野 公伸 ¹⁾ 1) 東北大学病院 病理部、2) 関西電力病院 外科、3) 関西電力病院 神経内分泌腫瘍センター、 4) 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、5) 名古屋大学 消化器内科、 6) 国立がん研究センター中央病院 病理診断科、7) 東京医科歯科大学 肝胆膵外科、8) 東北大学病院 総合外科
P4-2	腫瘍不均一性のためにインスリノーマの診断が困難であった 1 例49
	中村 直人、増井 俊彦、長井 和之、内田 雄一郎、余語 覚匡、金田 明大、瀬尾 智、 秦 浩一郎、田浦 康二郎、波多野 悦朗 京都大学大学院 医学研究科

P4-3	腫瘍選択的肝動脈塞栓術が有効であった、悪性インスリノーマ肝転移の1例50 秋重 尚貴 ¹⁾ 、三浦 孝之 ¹⁾ 、石田 晶玄 ¹⁾ 、樋口 慧 ²⁾ 、小黒 草太 ²⁾ 、片桐 秀樹 ³⁾ 、 穂坂 真一郎 ³⁾ 、森川 孝則 ¹⁾ 、亀井 尚 ¹⁾ 、海野 倫明 ¹⁾ 1) 東北大学 消化器外科学、2) 東北大学 放射線診断学、3) 東北大学 糖尿病代謝内科学
P4-4	当科で経験したVIPoma 4例の臨床的検討50 村上 正俊 ¹⁾ 、藤森 尚 ¹⁾ 、上田 孝洋 ¹⁾ 、松本 一秀 ¹⁾ 、安森 翔 ¹⁾ 、寺松 克人 ¹⁾ 、高松 悠 ¹⁾ 、 大野 隆真 ¹⁾ 、伊藤 鉄英 ²⁾ 、小川 佳宏 ¹⁾ 1) 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学、 2) 福岡山王病院 脾臓内科・神経内分泌腫瘍センター / 国際福祉医療大学 大学院医学研究科 消化器内科
P4-5	術後無再発生存している異所性ACTH産生腫瘍の1例51 渡邊 一永、土川 貴裕、松井 あや、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、中村 透、 岡村 圭祐、平野 聡 北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 II

ポスター 5	紙上発表
---------------	------

遺伝性NEN・一般

P5-1	当科におけるMEN1型の膵・消化管神経内分泌腫瘍例の後方視的検討52 石井 武、工藤 篤、菅原 俊喬、石川 喜也、上田 浩樹、赤星 径一、小川 康介、小野 宏晃、 田邊 稔 東京医科歯科大学 肝胆膵外科
P5-2	Von Hippel-Lindau Disease 関連PanNENにおける核医学検査の特徴52 山田 淳貴、清水 康博、高橋 智昭、松木 裕輝、三宅 謙太郎、藪下 泰宏、澤田 雄、 本間 祐樹、松山 隆生、遠藤 格 横浜市立大学附属病院
P5-3	VHL (Von hippel lindau 病) に合併する膵神経内分泌腫瘍3症例の治療経験53 窪田 武哲、土川 貴裕、松井 あや、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、 中村 透、岡村 圭祐、平野 聡 北海道大学大学院医学院・医学研究院 消化器外科学教室 II
P5-4	膵・直腸原発神経内分泌腫瘍肝転移例の腫瘍学的検討53 土川 貴裕、松井 あや、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、中村 透、岡村 圭祐、 七戸 俊明、平野 聡 北海道大学
P5-5	膵消化管原発NENに対するCAPTEM療法の検討54 寺島 健志、山下 竜也、金子 周一 金沢大学附属病院 消化器内科
P5-6	原発不明神経内分泌腫瘍の膵周囲孤立性リンパ節転移に対し外科的切除を施行し 無再発が得られている3例54 三浦 孝之 ¹⁾ 、石田 晶玄 ¹⁾ 、大塚 英郎 ¹⁾ 、水間 正道 ¹⁾ 、中川 圭 ¹⁾ 、藤島 史喜 ²⁾ 、森川 孝則 ¹⁾ 、 亀井 尚 ¹⁾ 、笹野 公伸 ²⁾ 、海野 倫明 ¹⁾ 1) 東北大学 消化器外科学、2) 東北大学 病理診断学

臨床・基礎研究

P6-1	<p>膵神経内分泌腫瘍の切除例における Biopsy Grade と Pathology Grade の不一致例に関する検討.....55</p> <p>仲野 健三、増井 俊彦、中村 直人、金田 明大、余語 覚匡、長井 和之、穴澤 貴行、波多野 悦朗</p> <p>京都大学 肝胆膵・移植外科</p>
P6-2	<p>モード解析の概念に基づく NMR 分析を用いた膵 NEN の新規血清診断法の開発.....55</p> <p>余語 覚匡¹⁾、増井 俊彦¹⁾、平川 慶子^{2,3)}、金涌 佳雅^{2,3)}、小池 薫⁴⁾、上本 伸二⁵⁾、波多野 悦朗¹⁾</p> <p>1) 京都大学外科、2) 日本医科大学共同研究施設磁気共鳴分析室、3) 日本医科大学法医学、4) 国立病院機構京都医療センター、5) 滋賀医科大学</p>
P6-3	<p>膵神経内分泌腫瘍における MGMT 発現の臨床的意義ならびにストレプトゾシンにおける治療感受性への影響.....56</p> <p>八木 宏平</p> <p>東京医科歯科大学医学部付属病院</p>
P6-4	<p>HG-PanNEN における新規治療薬 Eg5 阻害剤 Ispinesib の有用性の検討.....56</p> <p>小野 宏晃¹⁾、村瀬 芳樹¹⁾、浅野 大輔¹⁾、石川 喜也¹⁾、上田 浩樹¹⁾、赤星 径一¹⁾、小川 康介¹⁾、工藤 篤¹⁾、田中 真二²⁾、田邊 稔¹⁾</p> <p>1) 東京医科歯科大学 肝胆膵外科学、2) 東京医科歯科大学 分子腫瘍学</p>
P6-5	<p>膵・消化管神経内分泌癌オルガノイドモデルの作成・統合的解析と腫瘍再現を通じた新臨床分類の提案.....57</p> <p>川崎 健太^{1,2)}、浜本 康夫^{1,3)}、工藤 篤⁴⁾、金井 隆典¹⁾、中川 英刀⁵⁾、佐藤 俊朗^{1,2)}</p> <p>1) 慶應義塾大学医学部消化器内科、2) 慶應義塾大学医学部坂口光洋記念（オルガノイド医学）講座、3) 慶應義塾大学医学部腫瘍センター、4) 東京医科歯科大学肝胆膵外科、5) 理化学研究所生命医科学研究センター</p>

ご案内

プログラム

学術シンポジウム
JNETS

シンポジウム
スポンサー

セミナー
スポンサー

ランチ
セミナー

一般演題